

日本インテリア学会関西支部共催シンポジウムのご案内

「インテリアデザインの時代：ライフスタイルをめぐる工業と芸術」

—インダストリアルデザイン・アーカイブズ研究プロジェクト シンポジウム—

日本インテリア学会関西支部では、デザイン・アーカイブズ協議会、大阪工業大学と大阪市（大阪新美術館建設準備室）とともに、インダストリアルデザイン・アーカイブズ研究プロジェクト（IDAP）シンポジウム「インテリアデザインの時代：ライフスタイルをめぐる工業と芸術」を開催します。今や誰もが口にするようになった「インテリアデザイン」という言葉ですが、その歴史が動き始めたのは戦後です。工業化住宅の発展とともに、住宅設備・インテリア製品（インフィル）の開発が進み、人々に幅広く新しいライフスタイルを提供しました。

また一方で多くの建築空間に、挑戦的な表現のインテリアデザインが登場します。

本シンポジウムでは、ゲストスピーカーである東京大学大学院工学系研究科教授 松村秀一氏と編集者 川床優氏の講演、今年度 IDAP 内に新たに立ち上げたインフィル分科会の中村孝之氏による住宅インフィル研究報告、そして大阪工業大学副学長 宮岸幸正氏を加えたパネルディスカッションを交え、住宅から公共・商業空間まで、工業と芸術、機能と表現が交差するインテリアの世界を見渡し、ライフスタイルと社会の変化を考えます。

詳細は下記をご参照ください。みなさまのご参加お待ちしております。

インテリアデザインの時代：ライフスタイルをめぐる工業と芸術

<http://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryo/keizaisenryaku/0000424192.html>

[シンポジウム]

日時：平成 30 年 3 月 2 日（金曜日） 午後 5 時 30 分～午後 8 時 30 分（開場：午後 5 時）

会場：大阪工業大学梅田キャンパス OIT 梅田タワー 常翔ホール（大阪市北区茶屋町 1-45）

入場・申込み：入場無料・事前申込み不要

ゲストスピーカー：松村 秀一氏／東京大学大学院工学系研究科建築学専攻教授・川床 優氏／編集者

オープニングプレゼンテーション：遠藤 克彦氏／建築家、株式会社遠藤克彦建築研究所 代表取締役「（仮称）大阪新美術館」設計者

主催：大阪工業大学、インダストリアルデザイン・アーカイブズ協議会、大阪新美術館建準備室、日本インテリア学会関西支部

助成：一般財団法人地域創造、公益財団法人ユニオン造形文化財団

[特別展示]

日時：平成 30 年 3 月 2 日（金曜日） 午後 5 時から午後 8 時 30 分まで

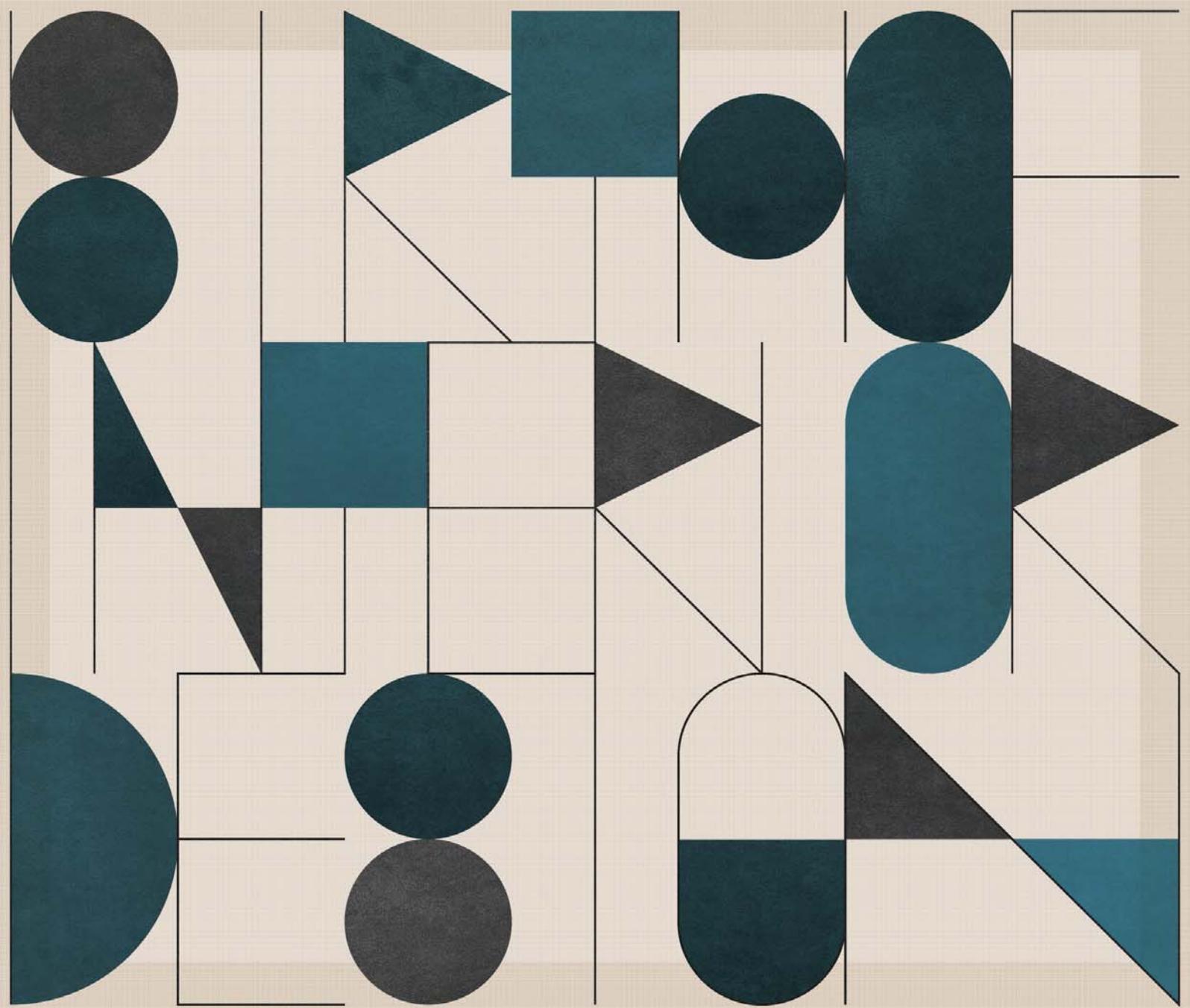
会場：大阪工業大学梅田キャンパス OIT 梅田タワー 3 階ホワイエ（大阪市北区茶屋町 1-45）

入場：入場無料

主な展示内容：「（仮称）大阪新美術館」完成イメージ / 倉俣史朗「引き出しの家具」（1967年：昭和 42年 大阪新美術館建設準備室蔵）

◎参考：インダストリアルデザイン・アーカイブズ研究プロジェクトについて

<http://www.city.osaka.lg.jp/contents/wdu120/artrip/idap/>



インダストリアルデザイン・アーカイブズ研究プロジェクト シンポジウム

BIRTH OF INTERIOR DESIGN インテリアデザインの時代

ライフスタイルをめぐる工業と芸術

2018年3月2日[金]

17:30→20:30 開場17:00

会場:大阪工業大学梅田キャンパス
OIT梅田タワー 常翔ホール(大阪市北区茶屋町1-45)

入場無料 事前申込不要

お問い合わせ:大阪新美術館建設準備室
TEL 06-6469-5189 FAX 06-6469-3897
www.city.osaka.lg.jp/contents/wdu120/artrip/index.html

ゲストスピーカー

松村秀一氏 東京大学大学院工学系研究科教授

川床優氏 編集者

オープニングプレゼンテーション

遠藤克彦氏 株式会社遠藤克彦建築研究所代表、(仮称)大阪新美術館設計者

主催:大阪工業大学、インダストリアルデザイン・アーカイブズ協議会
大阪新美術館建設準備室、日本インテリア学会関西支部

助成:一般財団法人地域創造、公益財団法人ユニオン造形文化財団

インダストリアルデザイン・アーカイブズ研究プロジェクト シンポジウム

BIRTH OF INTERIOR DESIGN インテリアデザインの時代

ライフスタイルをめぐる工業と芸術

インダストリアルデザイン・アーカイブズ研究プロジェクト(IDAP)は、「インテリアデザイン」をあらためて考えるシンポジウムを開催します。今や誰もが口にするようになったこの言葉ですが、その歴史が動きはじめたのは戦後です。工業化住宅の発展とともに、住宅設備・インテリア製品(インフィル)の開発が進み、人々に幅広く新しいライフスタイルを提供しました。インテリアコーディネーターという資格・職業も生まれました。また一方で、多くの建築空間に、挑戦的な表現のインテリアデザインが登場します。インテリアデザインは、建築、デザイン、アートなど、さまざまな分野間の横断を可能にする自由な場として、多彩なクリエイターの活躍を後押ししました。本シンポジウムでは、ゲストスピーカーの講演と、IDAPインフィル分科会の中村孝之氏(元積水ハウス住宅生活研究所長)による住宅インフィル研究報告、大阪工業大学の宮岸幸正副学長を加えたパネルディスカッションを交え、住宅から公共・商業空間まで、工業と芸術、機能と表現が交差するインテリアの世界を見渡し、ライフスタイルと社会の変化を考えます。

GUEST SPEAKERS



松村 秀一 東京大学大学院 工学系研究科建築学専攻 教授

SHUICHI MATSUMURA

1980年、東京大学工学部建築学科卒業。85年、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修了。工学博士。同学講師、助教授を経て、2006年より現職。一般社団法人日本建築学会副会長。21世紀の新しい産業のあり方を探求するHEAD研究会の設立を主導し、現在、一般社団法人化を果たした同研究会の副理事長を務める。05年、「住宅生産の工業化に関する研究」で日本建築学会賞(論文)。15年、「箱の産業 — プレハブ住宅技術者たちの証言」で日本建築学会著作賞。他、受賞多数。



川床 優 編集者

YU KAWATOKO

1950年生まれ。武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業。デザイン誌『ジャパンインテリア』編集部を経て、(株)メディアギルド代表、(株)メディアフロント代表、「カルチペイト」(乃村工芸社)編集長、『ユニバーサルデザイン』(UDC)編集長、(株)六耀社編集顧問等を歴任。武蔵野美術大学ほか、東京都内の大学で教鞭を執る。デザイン・建築をはじめ、都市文化、美術等の書籍・作品集、雑誌の企画編集および評論執筆多数。著書に『漱石のデザイン論』(六耀社・2012年)、近作に『安藤忠雄 建築家と建築作品』責任編集(鹿島出版会・2017年)等がある。

OPENING PRESENTATION



遠藤 克彦 建築家・株式会社遠藤克彦建築研究所 代表取締役

KATSUHIKO ENDO

1970年、横浜市生まれ。92年、武蔵工業大学(現 東京都市大学)工学部建築学科を卒業。93年、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻に進み、原広司に師事。95年、修士課程修了。97年、遠藤克彦建築研究所設立。2007年に法人化。2010年からは東京都内の大学で後進の指導にもあたる。16年、「豊田市自然観察の森ネイチャーセンター」の設計で第15回公共建築賞優秀賞、「15 WINDOWS — 池田山の集合住宅」の設計でグッドデザイン賞。17年、「(仮称)大阪新美術館」公募型コンペにおける提案が最優秀案に選ばれる。

シンポジウム当日限定
特別展示

大阪工業大学梅田キャンパス3階ホワイエにて、「(仮称)大阪新美術館」の完成イメージ(パース・模型)と、倉俣史朗「引き出しの家具:椅子」(1967年:大阪新美術館建設準備室蔵)を、シンポジウム当日限定で特別展示します。



みらいをつくる つたえる まもる。
大阪工業大学
OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

大阪工業大学梅田キャンパス OIT梅田タワー 常翔ホール(大阪市北区茶屋町1-45)

- JR「大阪」駅から徒歩5分、阪急「梅田」駅から徒歩3分 ■ 阪神「梅田」駅から徒歩7分、御堂筋線「梅田」駅から徒歩5分
- 谷町線「東梅田」駅から徒歩5分 ※雨の日も、地下街連絡通路から傘をささずにアクセスできます。

インダストリアルデザイン・アーカイブズ研究プロジェクト(IDAP)

運営:インダストリアルデザイン・アーカイブズ協議会 事務局:大阪新美術館建設準備室
<http://www.city.osaka.lg.jp/contents/wdu120/artrip/idap/>